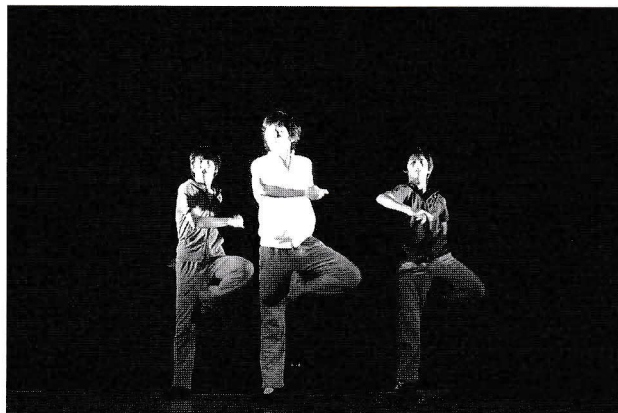


表現科卒業公演

八戸東高校表現科 主任 木村浩哉



7月の公演タイトル「卒業」の頭に「卒業」と付くのに違和感を覚えるかも知れない。全国唯一の学科である八戸東高校表現科では、普通科目の他に専門科目として「言語表現」「身体表現」「映像表現」「舞台芸術」について学習する。この公演は入学後今まで学習してきたことの集大成として、卒業を控えた3年生を中心に発表する場なのである。

7月23日、市公会堂文化ホールにて、本校の「表現科卒業公演」が、多くの保護者、市民の方々500余名を前にして開催された。まず「言語表現」。1年生は太宰治の「走れメロス」(昨年度は寺山修司の短歌)を30人で朗読した。実は1年生は、7月12日に五所川原市で行われた朗読劇「叫べ100人の「走れメロス」」(長谷川孝治県立美術館舞台芸術総監督演出)に出演している。本来30分の作品であるが、今回は10分バージョンにしての上演である。メロスの親友役の生徒は、メロスの到着の安堵感を表現するのに苦心したという。また今回新しい試みとして、英語で表現科の紹介を行っ

た。当科は「ディベート」「英語表現」等普通科より英語の時間数が多い。日頃学んだことをスピーチに生かした。ステージ上にはキヤラクターが対照的な3年女子生徒が二人。一人は落ち着いたニューヨークの5番街にいるOL風。もう一人はカリフォルニアで太陽に当たり過ぎたギャル風。しつかり暗記し、身振り手振りを交えた流暢な英語には喝采があがった。テロップを流した生徒との息もぴったり合っていた。

次に「身体表現」。2年生の創作ダンスは3グループあったが、その中で表現科の歴史を塗り替えたのは、初の男子のみによるダンスである。「アメリカンバレエシスター」の作品を参考にしたものであるが、バレエ経験のある生徒は一人のみ。他の二人は未経験者ながら曲の主題を表現し、女子が多い科の中で男子の存在感を高めてくれたのである。

最後に「映像表現」と「舞台芸術」。当科では、「映像」と「舞台」は2年生後期から選択となる。それぞれ映画と演劇を創作する。演劇の配役は、演出と舞台監督(もちろん生徒)の前で、数名ずつがセリフを言うオーディションにより決定された。結果は掲示発表され歓声上がる。このような生徒同士の協議の時間を重ねて培ってきた表現力公演で発揮するのである。

Friday Amusement Negative Shop

9月のFANS (813~816回)

だべり場 2009.09

演劇上演ではありませんが、次の日程で開始予定です。

開演	9/4	9/5	9/11	9/18	9/19	9/25	9/26
14:00	●	●	●	●	●	●	●
19:30	●	●	●	●	●	●	●



演劇空間
スペースベン

八戸市柏崎1-11-8
☎ 0178-43-9876
FAX 050-3588-8350
☎ 080-6025-0990

HP <http://spaceben.com/>

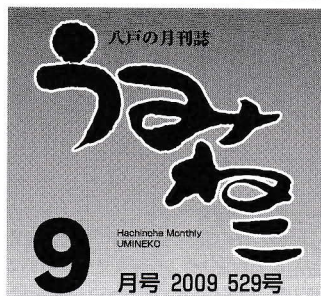
EMAIL owner@spaceben.com

※特別番組以外全て午後7時30分～、料金/一般400円 高校生以下100円(当日100円増)
※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。

9月号好評発売中!

●今月のテーマエッセイ「並ぶ」

長蛇の末尾……………佐々木絵理子
父とボチ……………大庭文武
浅草寺、元旦の夜……………田中葉子
並んでどうする日本人?……………木村勝一
笑顔が並ぶ光景に……………類家澄子
ツーショット……………長谷川直行



●今月のインタビュー

Ladies Fashion EMI-YA ラビア店長

村田るみ子さん(44歳)に聞く

読む楽しさ **読物満載**

毎月ご愛読ありがとうございます

発行所/うみねこ出版社

八戸市六日町10 いわとくパルコ3F
TEL・FAX 0178-44-6636